

バックアイカメラ

## BEC109

ふかん  
俯瞰機能付バックアイカメラ

## BEC309

### 取付説明書

090003-3139A700

#### お客さまへのお願い

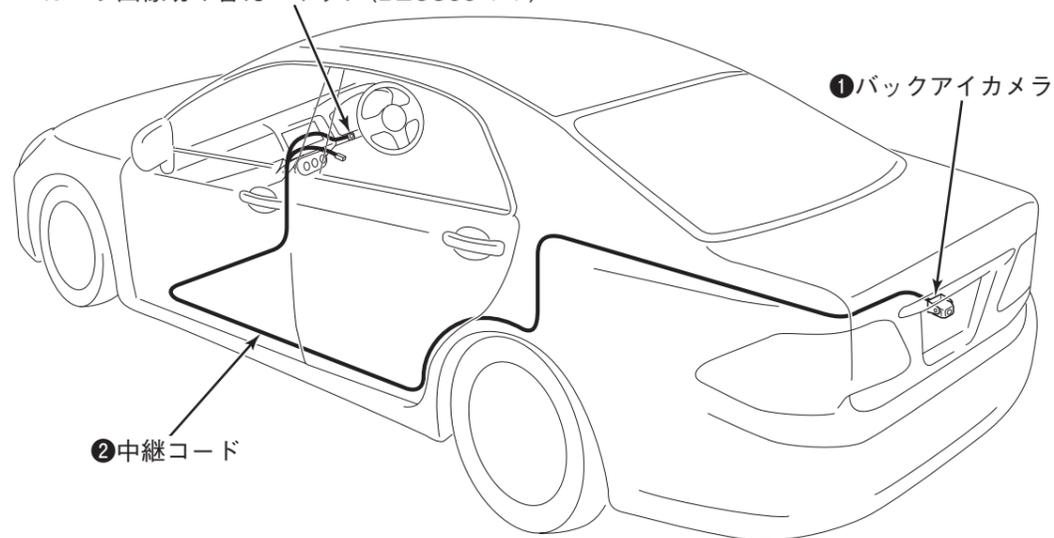
- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- 「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

#### —販売店様へ—

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

#### 取付概要図

カメラ画像切り替えスイッチ (BEC309のみ)



### 構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

#### ●本体関係(BEC109)

①バックアイカメラ  ×1	②中継コード  ×1
---	--

#### ●本体関係(BEC309)

①バックアイカメラ  ×1	②中継コード  ×1
---	--

#### ●取付用部品関係(BEC109、BEC309 共通)

③U型ブラケット  ×1	④小ねじ (M3×6)  ×2	⑤カメラカバー  ×1
⑥カバー用ブラケット  ×1	⑦小ねじ (M3×10)  ×2	⑧コードレール  ×2
⑨バンドクランプ  ×3	⑩クランプ  ×3	⑪ハーネス固定テープ  ×1
⑫防水クッション  ×1	⑬クリーナ  ×1	

※その他の構成部品(取付説明書、保証書などの資料類)

### 作業の進め方

- 1) 構成部品の確認
- 2) バッテリーの⊖端子を外す
- 3) 接続を確認する
- 4) バックアイカメラを取り付ける
- ※ 5) カメラ画像切り替えスイッチを取り付ける
- 6) 配線する
- 7) バッテリーの⊖端子を元に戻す
- 8) バックアイカメラの設定を行う

(☞構成部品)

(☞接続のしかた)

(☞バックアイカメラの視野角について)

※(☞バックアイカメラの取付位置について)

(☞バックアイカメラの取り付けについて)

(☞バックアイカメラ角度調整について)

※(☞スイッチの取り付け)

※(☞設定に入る前の準備)

※(☞バックアイカメラの初期設定“画像表示モードの切り替え”)

※印は、BEC309のみ

### ●俯瞰(ふかん)機能付バックアイカメラについて (BEC309のみ)

- 1) 俯瞰(ふかん)機能を使用する

(☞カメラ画像の切り替え)

# ●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗ : しなければならないことを表しています。

🚫 : してはいけないことを表しています。

⚠ : 注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 <b>アドバイス</b>	この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。
---	--

## ⚠ 警告

- ❗ **本機は DC12V ⊖アース車専用です。**  
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしないでください。火災の原因となります。
- ❗ **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。**  
プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- 🚫 **本機を次のような場所には取り付けしないでください。**  
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。
- ⚠ **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。**  
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- ❗ **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。**  
破片などが目に入ったりにして怪我や失明の原因となります。
- 🚫 **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**  
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 🚫 **本機を分解したり、改造しないでください。**  
事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。**  
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 🚫 **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**  
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。**  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 🚫 **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。**  
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
- 🚫 **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。**  
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ❗ **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。**  
ショートにより火災、感電の原因となります。
- ❗ **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。**  
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。

## ⚠ 警告

- ❗ **必ず付属の部品を指定通り使用してください。**  
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- ⚠ **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。**  
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- ❗ **取付説明書で指定された通りに接続してください。**  
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

- ❗ **本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。**  
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 🚫 **雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。**  
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- 🚫 **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。**  
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 🚫 **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けしないでください。**  
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 🚫 **本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがしないでください。**  
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ❗ **コードが金属部に触れないように配線してください。**  
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- ❗ **コードの配線は、高温部を避けて行ってください。**  
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 🚫 **コード類を決して途中で切断しないでください。**  
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。
- 🚫 **電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。**  
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。
- ⚠ **コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。**  
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。
- 🚫 **本機を車載用として以外は使用しないでください。**  
感電や怪我の原因となることがあります。
- ❗ **本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**  
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

# ●バックアイカメラ取り付け後の注意事項

## －使用方法について－

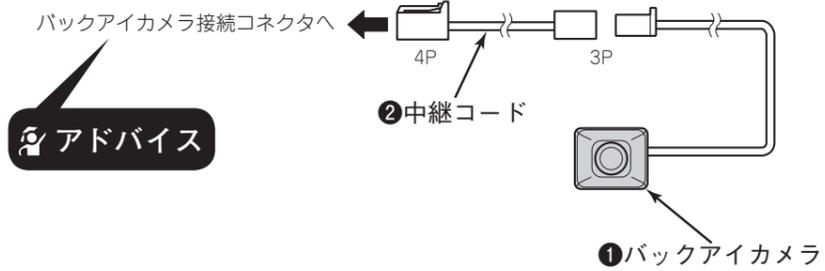
- バックアイカメラを過信しないでください。
- バックアイカメラは、障害物の確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがレンズ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- 自車状況(乗車人数・積載量)により、画面に映し出される位置が変化します。  
必ず後方及び周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラによって映し出される映像だけを見ながら後退運転することは絶対にしないでください。必ず目視による安全確認をしながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。
- ゆっくりした速度で後退運転してください。カメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、速度を上げての後退は人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。
- カメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車種により見え方が異なります。十分にご注意ください。
- カメラレンズの特性により、画像に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

## －取扱いについて－

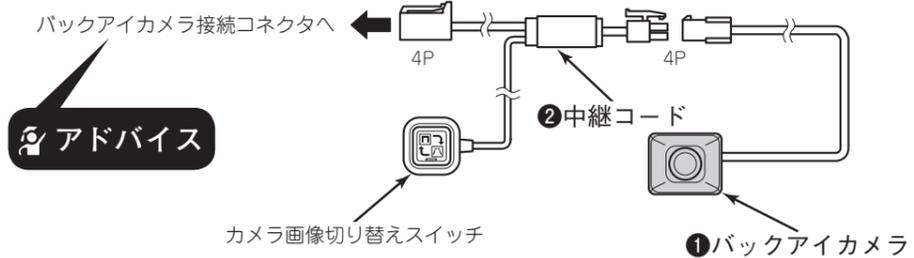
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。  
バックアイカメラの故障や破損の原因になります。
- カメラレンズへの直火やドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 車両後方画像を表示させた瞬間は、一旦白画像(接続する機種により異なります)になりますが、その後次第に安定します。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、カメラ素子の特性によるものです。
- 50Hz 電源地域の蛍光灯下では、画像のちらつき(フリッカー現象)が起こりますが故障ではありません。
- バックアイカメラ本体及びレンズ部分、ブラケット、カメラコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。
- カメラコードに傷をつけないでください。傷の部分からカメラ内部に湿気や水分が浸入し火災や感電、故障の原因となることがあります。
- カメラを水に浸したり、自動洗車機(高水圧)による洗車は避けてください。カメラ内部に水が入ったり、また、カメラが脱落したりして、思わぬ事故の原因となります。
- バックアイカメラ本体に自動洗車機や高圧洗浄機などの高い圧力の水をかけないでください。カメラが落下したり、防水が不完全となり内部に水が侵入して故障や火災、感電の原因となります。
- カメラやブラケットなどは、定期的に点検してください。取付ねじの緩みや貼り付けした部分が剥がれていないことを確認してください。取付ねじの緩みがある場合は、増し締めをしてください。カメラが外れて落下し、歩行者等に接触したり、事故の原因となることがあります。
- 太陽光を直接映したり、強い光(太陽光のバンパーからの反射やヘッドライト等)が入射した場合、光源の上下に光の縦線(スミア)が現れることがありますが、故障ではありません。

## ●接続のしかた

### ■BEC109の場合



### ■BEC309の場合

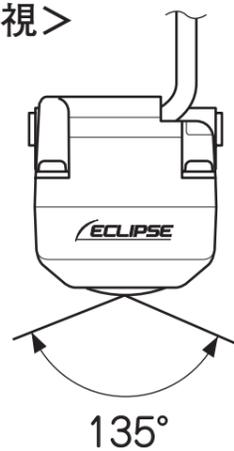


#### アドバイス

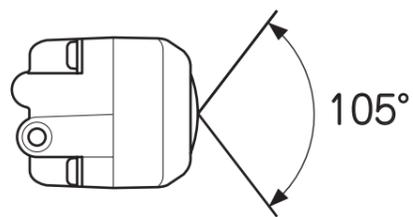
※1 当社AVNまたは別売りカメラ接続用電源BOXのバックアイカメラ接続コネクタに接続してください。  
接続方法は、必ず当社AVNまたは別売りカメラ接続用電源BOXの取付説明書を確認の上、行ってください。

## ●バックアイカメラの視野角について

### <上面視>



### <側面視>

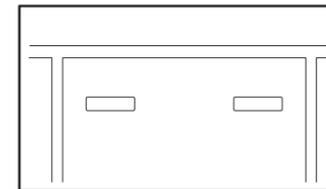
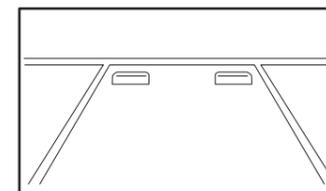
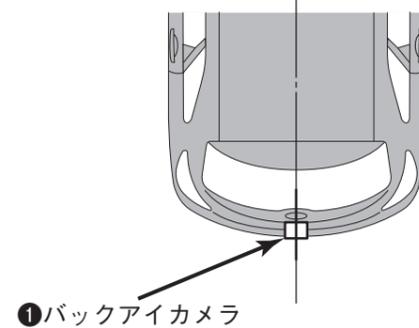


## ●バックアイカメラの取付位置について

### <車両上方から見た図>

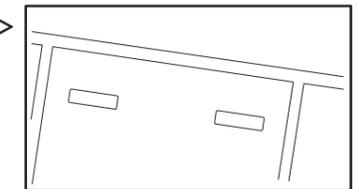
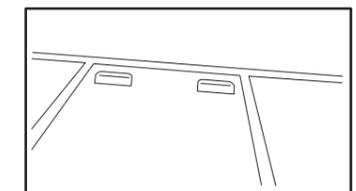
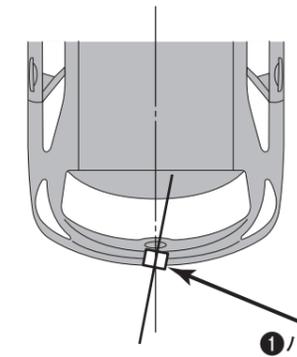
#### 図A

■車両とバックアイカメラを平行に取り付けた場合  
(バックアイカメラのレンズ面が車両の真後ろに向くように取り付けた場合)



#### 図B

■バックアイカメラを車両に対して傾いて取り付けた場合



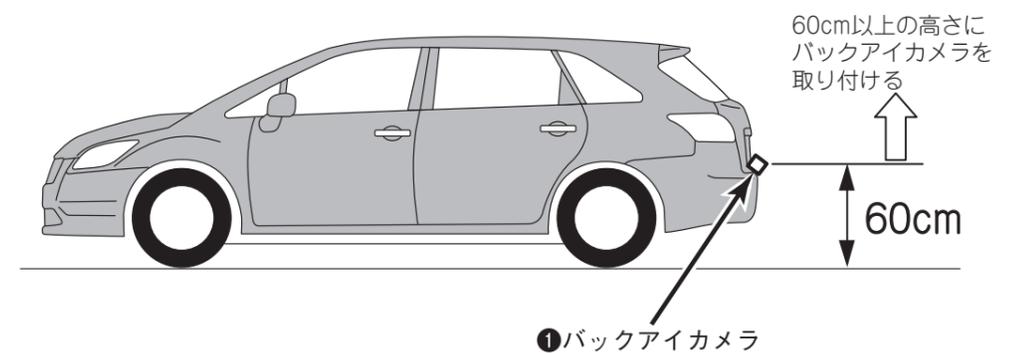
<通常カメラ画像>  
(イメージ)

<俯瞰(ふかん)カメラ画像>  
(イメージ)  
※BEC309のみ

#### アドバイス

図Aのように車両と平行になるように取り付けてください。  
図Bのように車両に対して傾いて取り付けると画像が傾きます。

### ■BEC309の場合のみ



#### アドバイス

60cm以下の高さにバックアイカメラを取り付けると視野範囲が狭くなり、見えにくくなります。

# バックアイカメラの取り付けについて

## アドバイス

### —取り付け前—

- 湿気が多い時は、室外での取り付けはしないでください(粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります)。
- 必ず組み合わせるメインユニット側の取付説明書もよくお確かめの上、取り付けてください。

### —取り付け作業時—

- 取り付け後、走行してもさしつかえありませんが、24時間は絶対に水をかけたり、雨にあてたり、引っ張る等無理な力を加えないで自然放置してください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。バックアイカメラ本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。

## ■ リヤスポイラー、トランクドアガーニッシュに取り付ける場合

### 1 バックアイカメラの取付位置を決める。



注意

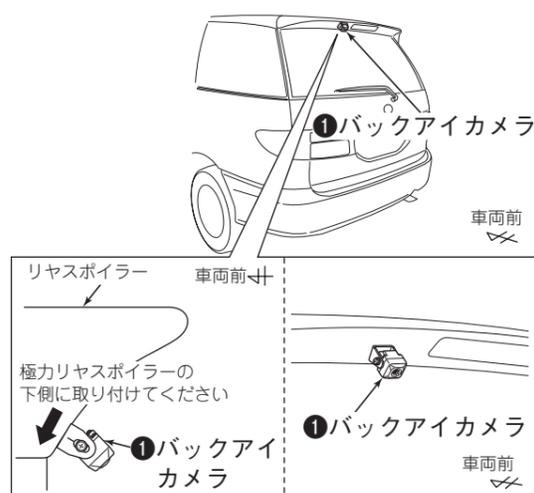
国土交通省の定める保安基準に適合させるため、取り付けるときは、図のように取り付けてください。正しく取り付けないと、「道路運送車両の保安基準」に適合しなくなる場合があります。

## アドバイス

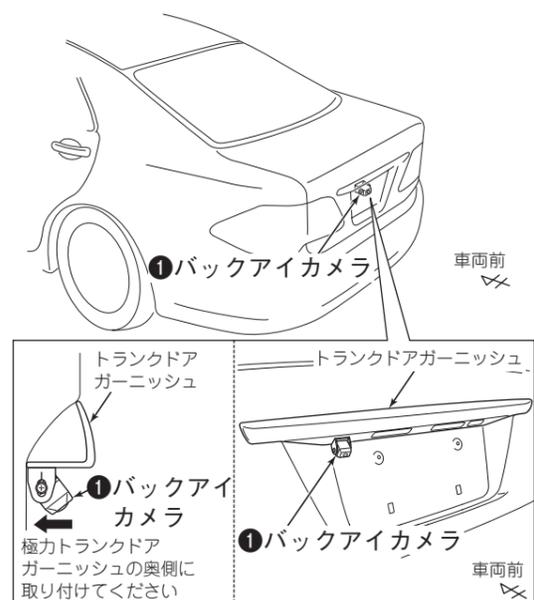
バックアイカメラの取付位置を決める際、以下の事項に注意してください。

- バックアイカメラをテープ等で仮止めし、角度を調節して、車両後端が確認できる位置に取り付けてください。一度取り付けて貼り直すと両面テープの粘着力が弱くなります。
- バックアイカメラは、ハイマウントストップランプなどの光がカメラレンズに入らない位置に取り付けてください。
- バックドア開閉時にバックアイカメラ及びコードが車両と干渉しないようあらかじめ取付位置を確認してください。
- 両面テープのハクリ紙は、はがさないでください。

—リヤスポイラー吊り下げ取り付け(例)—



—トランクドアガーニッシュ取り付け(例)—



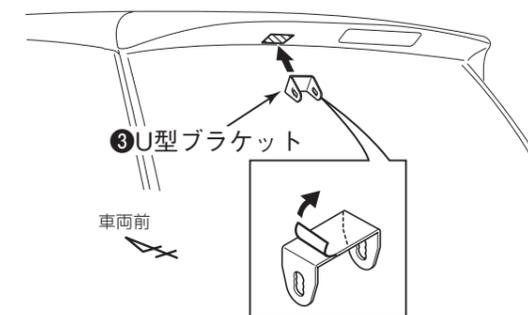
## 2 ブラケットを貼り付ける。

- ① U型ブラケットを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等を付属のクリーナー(布)できれいにふき取る。
- ② U型ブラケットの両面テープのハクリ紙をはがし、リヤスポイラーの平らな面へ取り付けます。

## アドバイス

- 貼り付けた後は、確実に密着するようブラケットを十分押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- バックアイカメラ本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。

—リヤスポイラー吊り下げ取り付け(例)—



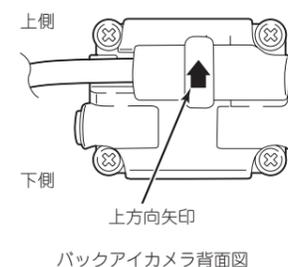
## 3 バックアイカメラをブラケットに取り付ける。

## アドバイス

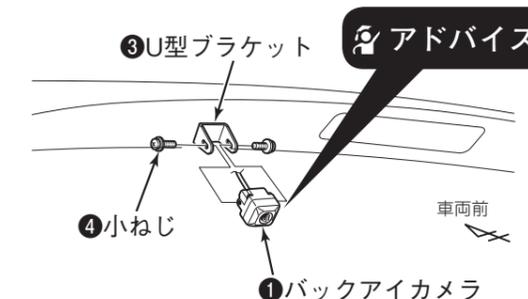
(ECLIPSE)ロゴの印刷面が上になるように取り付けてください。

<参考>

バックアイカメラの背面に上方向を示す刻印があります。矢印が上方向に向くよう取り付けてください。



—リヤスポイラー吊り下げ取り付け(例)—



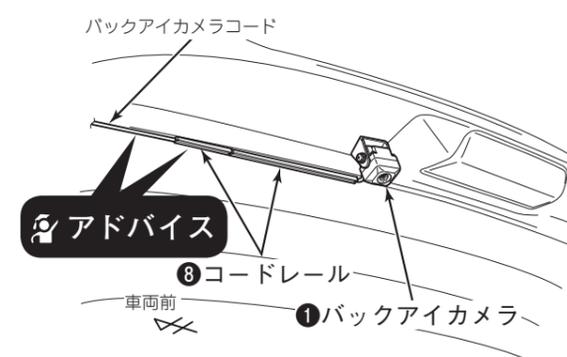
## 4 バックアイカメラコードを車室内に引き込む。

- ① バックアイカメラコードをコードレール及びクランプで固定しながらバックドア内側まで引き込む。

## アドバイス

- コードレールは、適当な長さに切って使用してください。
- 車室外でコードレールを使用する際は、国土交通省の定める保安基準に適合させるため、必ず同梱のコードレールを使用してください。

—リヤスポイラー吊り下げ取り付け(例)—



## ■ バックドアに取り付ける場合

### 1 バックアイカメラの取付位置を決める。

#### 📌 アドバイス

バックアイカメラの取付位置を決める際、以下の事項に注意してください。

- バックアイカメラをバックドアに取り付ける場合は、国土交通省の定める保安基準に適合させるため、必ずカメラカバーを取り付けてください。カメラカバーを取り付けないと「道路運送車両の保安基準」に適合しなくなる場合があります。
- バックアイカメラをテープ等で仮止めし、角度を調節して、車両後端が確認できる位置に取り付けてください。一度取り付けて貼り直すと両面テープの粘着力が弱くなります。
- バックアイカメラは、ハイマウントストップランプなどの光がカメラレンズに入らない位置に取り付けてください。
- バックドア開閉時にバックアイカメラ及びコードが車両と干渉しないようあらかじめ取付位置を確認してください。
- 両面テープのハクリ紙は、はがさないでください。

### 2 ブラケットを貼り付ける。

- ① カバー用ブラケットを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等を付属のクリーナ(布)できれいにふき取る。
- ② カバー用ブラケットの両面テープのハクリ紙をはがし、バックドアの平らな面へ取り付ける。

#### 📌 アドバイス

- 貼り付けた後は、確実に密着するようブラケットを十分押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。

### 3 バックアイカメラをブラケットに取り付ける。

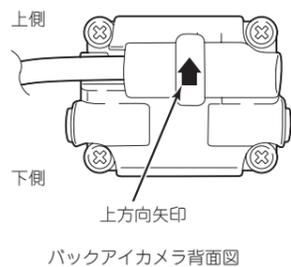
- ① バックアイカメラをカバー用ブラケットに取り付ける。

#### 📌 アドバイス

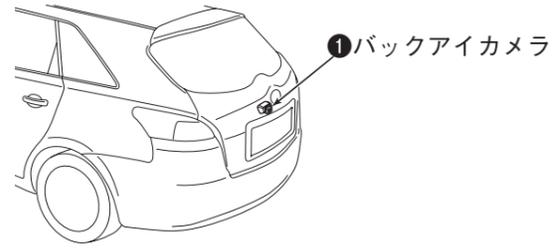
(ECLIPSE)ロゴの印刷面が上になるように取り付けてください。

<参考>

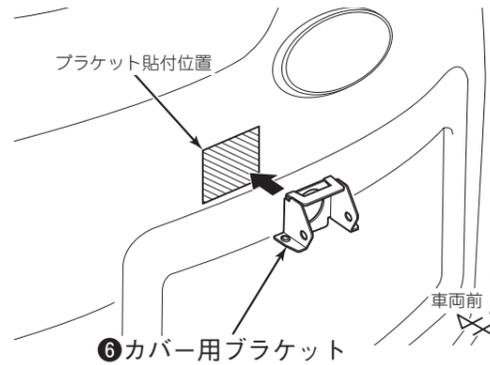
バックアイカメラの背面に上方向を示す刻印があります。矢印が上方向に向くように取り付けてください。



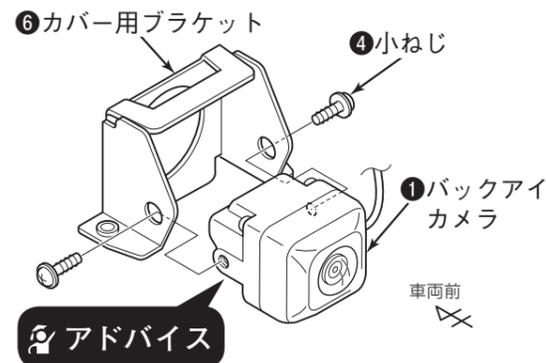
—バックドア取り付け(例)—



—バックドア取り付け(例)—



—バックドア取り付け(例)—

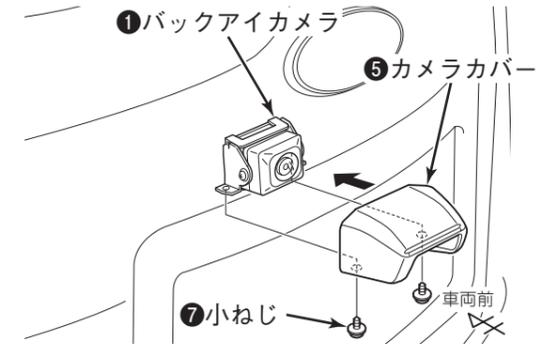


### 4 ブラケットにカメラカバーを取り付ける。

#### 📌 アドバイス

カメラカバーを取り付ける前に、カメラの角度調整を行ってください。カメラカバーを取り付けた状態ではカメラの角度調整はできません。

—バックドア取り付け(例)—



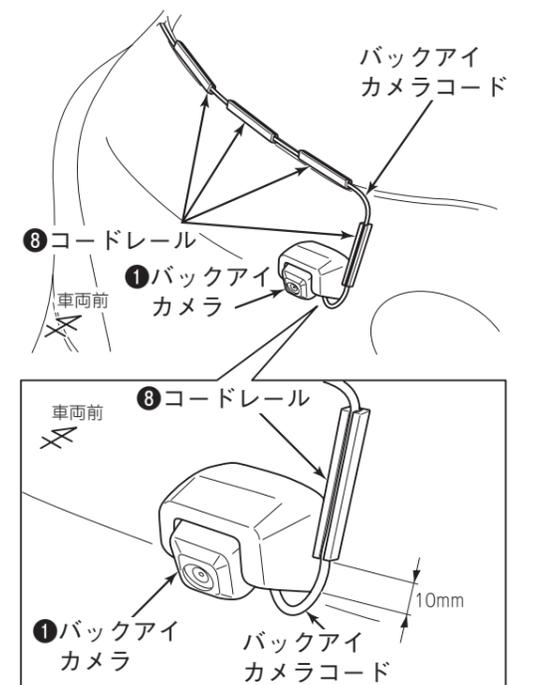
### 5 バックアイカメラコードを車室内に引き込む。

- ① バックアイカメラコードをコードレールで固定しながらバックドア内側まで引き込む。

#### 📌 アドバイス

- コードレールは、適当な長さに切って使用してください。
- 車室外でコードレールを使用する際は、国土交通省の定める保安基準に適合させるため、必ず同梱のコードレールを使用してください。
- コードレールは、カメラカバーの側面に沿わせて配線してください。

—バックドア取り付け(例)—



## 6 バックアイカメラコードを配線し、車室内に引き込む。

- ① バックアイカメラコードをコードレール、バンドクランプ及びクランプで固定しながら配線する。

### 🔧アドバイス

- コードレールは、適当な長さに切って使用してください。
- クランプは車室外に使用しないでください。車室外で使用すると、国土交通省の定める保安基準に適合しなくなる場合があります。

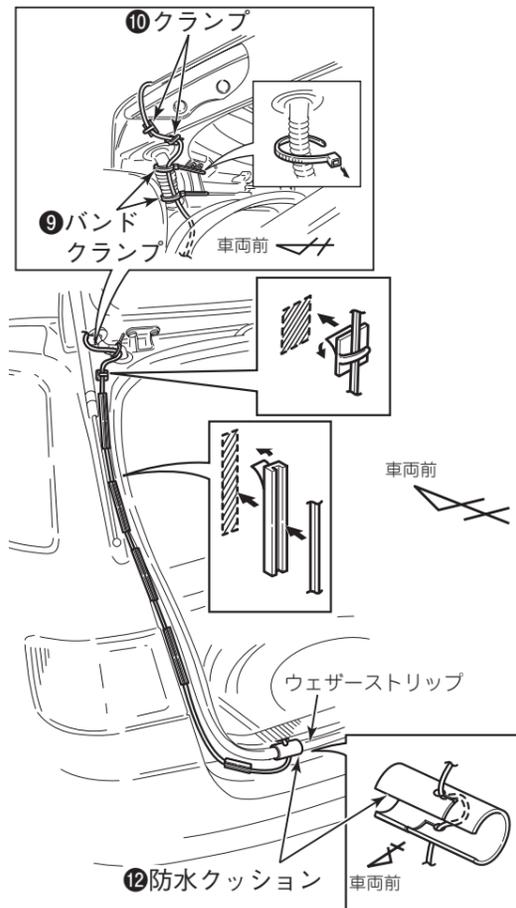


### 注意

- バックドアを開閉したとき、バックアイカメラコードが引っ張られたり、クランプおよびバンドクランプが外れないことを確認してください。
- 雨水等の侵入を防ぐためトランク部分のコード引き回しには十分注意してください。

- ② バックアイカメラコードを防水クッションのスリット部に挿入する。
- ③ 防水クッションをウェザーストリップに巻き付けるように取り付ける。

### ーリヤスポイラー吊り下げ取り付け(例)ー



## 7 バックアイカメラコードを配線する。

- ① バックアイカメラコードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。
- ② バックアイカメラコードを引き込むためにラゲージフィニッシュプレートのカットする。

### 🔧アドバイス

ラゲージフィニッシュプレート切り欠き位置裏側にリップ等が無いことを確認してください。

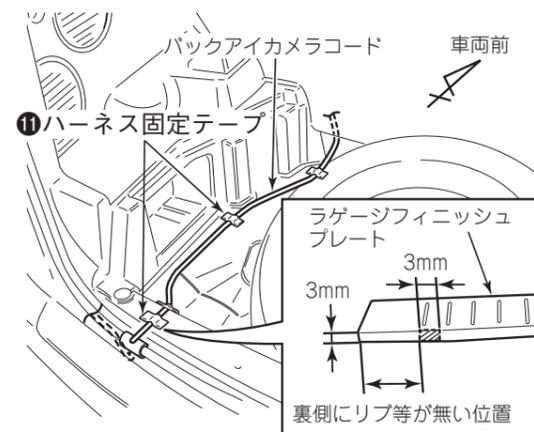


### 注意

雨水等の侵入を防ぐためトランク部分のコード引き回しには十分注意してください。

- ③ バックアイカメラコードをメインユニット取付位置まで配線する。

### ーリヤスポイラー吊り下げ取り付け(例)ー



## ●バックアイカメラ角度調整について



### 注意

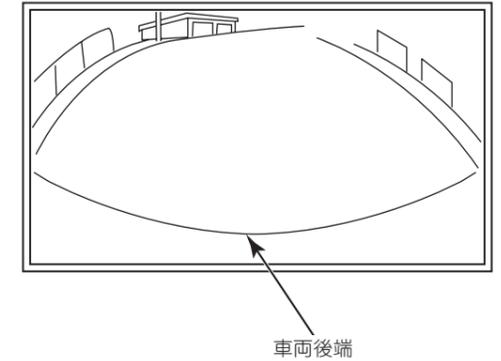
バックアイカメラを映し出す際は、車が動かないようサイドブレーキを引き、車輪止めを必ず行ってください。思わぬ事故の原因となります。

## 1 バックアイカメラをモニターに接続する。

- ① バックアイカメラコードをモニターに接続後、バッテリーにケーブルを接続する。

## 2 車両のシフトレバーをリバース(後退)位置にする。

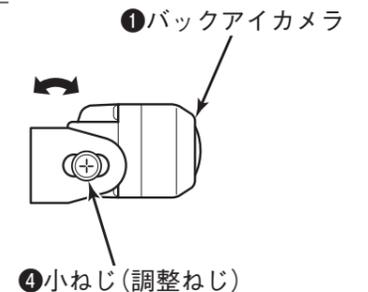
- ① シフトレバーをRレンジにし、車両後方映像を表示させる。



## 3 バックアイカメラの角度調整をする。

- ① 車両後端部(リヤガラス、リヤドア、リヤバンパー等)が図のようにモニターの画像下に表示されるよう調整ねじを緩め、カメラの角度を調整する。

### ー角度調整ー



## 4 バックアイカメラを固定する。

- ① 角度調整後、調整ねじをしっかりと締め付ける。この際、ブラケットの調整ねじの位置はブラケット長穴のどちらかの端になる位置で固定してください。

### 🔧アドバイス

- バックアイカメラの角度調整の際、コードが突っ張らないように注意してください。
- 調整ねじは時々点検し、緩みがある場合は増し締めをしてください。

### ー前後調整ー



## ●スイッチの取り付け(BEC309のみ)

### 1 スイッチを取り付ける。

- ① スイッチをクラスターパネルの右横等、操作性の良い位置に取り付ける。



注意

運転操作の妨げになるような場所には取り付けないでください。



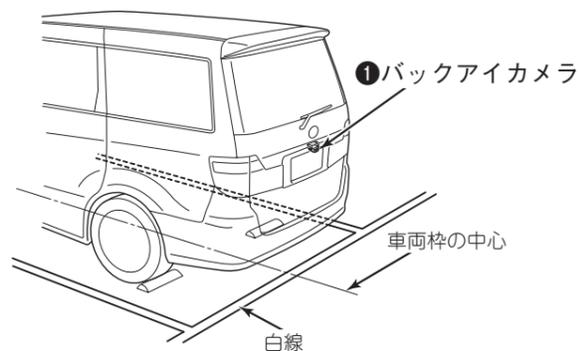
## ●設定に入る前の準備(BEC309のみ)

### 📌アドバイス

車両を駐車車両枠(白線等)と車両輪止めのある場所に移動させてから、モニターに映し出される映像をもとに設定を行います。安全に設定を行える場所へ、車両を移動させてください。

### 1 車両を止める。

- ① 白線のある駐車場で駐車車両枠(白線)の中央に車両を止める。

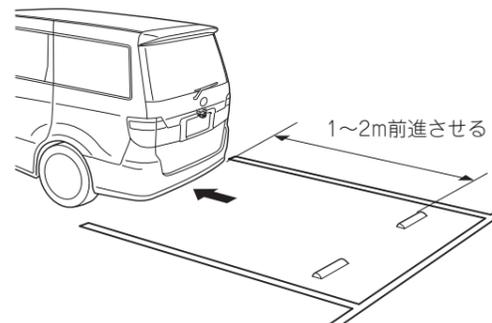


### 2 車両を前に出す。

- ① 車両を止めた場所から設定の行える位置まで前進させる。

### 📌アドバイス

- 設定は必ず駐車車両枠(白線等)と車両輪止めのある駐車場で行ってください。
- 白線の中心と車両の中心を合わせるように車両を動かしてください。



注意

設定は、必ずエンジンを切り、パーキングブレーキを引いた状態で行ってください。

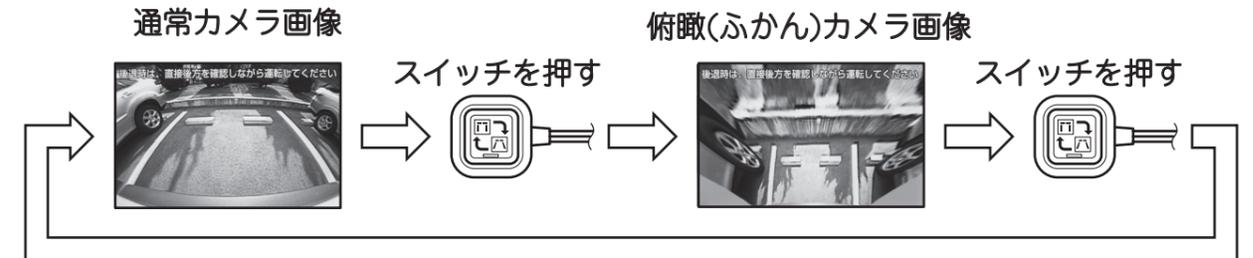
## ●カメラ画像の切り替え(BEC309のみ)

### 1 車両のシフトレバーをリバース(後退)の位置にする。

- ① シフトレバー操作に連動して、モニターに車両後方の映像が映し出される。

### 2 バックアイカメラの映像が表示されているときに、画像切り替えスイッチを押す。

- ① 押すたびに画像が切り替えられ、映像パターンが切り替わります。



### 📌アドバイス

- 俯瞰(ふかん)カメラ画像を表示している状態で、リバース(バックギア)を一度OFFにし、再度リバース(バックギア)ONにしても俯瞰(ふかん)カメラ画像を表示します。但し、以下の場合は、通常カメラ画像を表示します。
  - ①リバース(バックギア)をOFFして、再度リバース(バックギア) ONするまでの時間が約5分経過した場合 (当社AVNに直接接続した場合のみ)
  - ②別売りカメラ接続用電源BOXを使用して接続した場合
  - ③ACCをOFFした場合
- バックアイカメラ映像は車両周辺の状況確認の補助です。車両後方の状況は必ず運転者の目視でご確認ください。

### 3 車両のシフトレバーをリバース(後退)以外の位置にする。

- ① シフトレバーをリバース(後退)以外の位置にすると、元のモニター画像に戻る。

#### ●通常カメラ画像：

車両後方を全体的に映す映像です。主に車両後方を全体的に確認したい時にご利用ください。

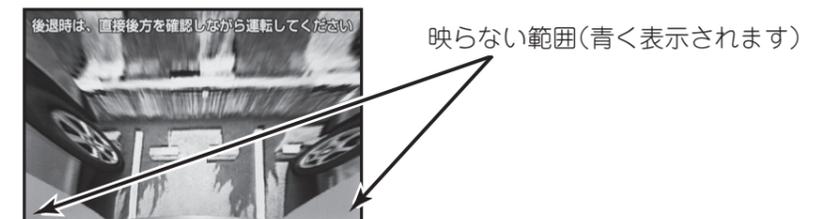
#### ●俯瞰(ふかん)カメラ画像：

車両上方から真下方向を映す映像です。

主に車両後方の段差、縁石、車両輪止め等を確認したい時にご利用ください。

※俯瞰(ふかん)カメラ画像は、通常カメラ画像を画像補正して表示しています。

モードによっては、下図のように画像が映らない範囲がありますが、故障ではありません。



# バックアイカメラの初期設定 “画像表示モードの切り替え” (BEC309のみ)

## 1 車両のシフトレバーをリバース(後退)の位置にする。

- ① シフトレバー操作に連動して、モニターに車両後方の映像(通常カメラ画像)が映し出される。

### アドバイス

通常カメラ画像が表示されているときに、画像切り替えスイッチを押すと俯瞰(ふかん)カメラ画像に切り替わります。画像は、押すたびに切り替わります。

## 2 画像切り替えスイッチを5秒以上押す。

- ① “バックアイカメラの初期設定”の取付位置選択画像が映し出される。

## 3 画像切り替えスイッチを押して、モードを選択する。

- ① 取付高さ“低いモード”か、取付高さ“高いモード”のどちらかを選択し、切り替えスイッチを押す。

### アドバイス

視野範囲を選択できます。どちらかを選択してください。

## 4 画像切り替えスイッチを3秒以上押す。

- ① “バックアイカメラの初期設定”の角度選択画像が映し出される。

### アドバイス

再度、切り替えスイッチを3秒以上押すと“バックアイカメラの初期設定”の取付位置選択画像に戻ります。

## 5 画像切り替えスイッチを押して映像の角度を切り替えて選択する。

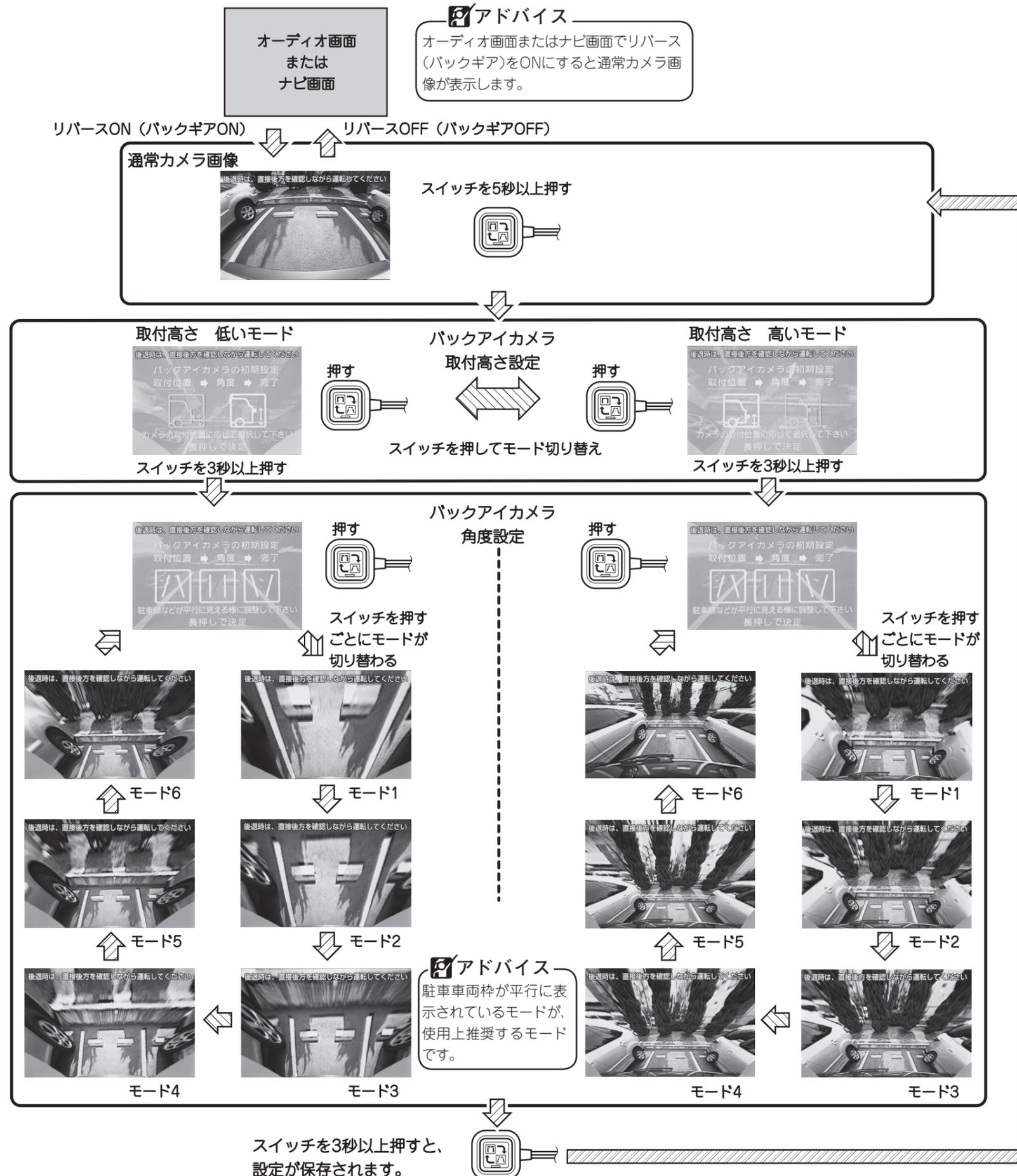
- ① 切り替えスイッチを押すたびに、各モードでそれぞれ6段階に角度が切り替えられる。
- ② お好みの映像角度を選択する。

## 6 画像切り替えスイッチを3秒以上押す。

- ① 切り替えスイッチを3秒以上押して、設定を保存する。(完了)

### アドバイス

設定を保存すると“画像切り替え”時の画像になります。



**アドバイス**  
オーディオ画面またはナビ画面でリバース(バックギア)をONにすると通常カメラ画像が表示されます。

- アドバイス**
- 設定中にリバースOFFにすると、設定を保存しません。
  - 一度設定した画像設定モードを再設定する場合は、再度、手順1~6に沿って設定を行ってください。
  - バッテリー交換しても設定が保存されたままですので、再設定する必要はありません。
  - 本説明書のカメラ画像は、イメージ例です。車種や取付位置により、イメージと見え方が異なる場合があります。
  - 別売りカメラ接続用電源BOXを使用して接続する場合や当社AVNの機種によっては、コーションは表示されません。